ダンカン ソリッド

標 準 仕 様 書

石材・テラコッタ・煉瓦・ALC等の
長寿命化・高耐久化のための含浸強化剤

2010.07

保存科学株式会社
〒468-0043　名古屋市天白区菅田一丁目906番地
保存科学ダンカン事業部
Tel・Fax　052-808-0300
e-mail hozonkagaku@wings.ne.jp

標準仕様

目次

ダンカン　ソリッドの施工　1

フローチャート　1
下地処理　2
施工範囲外の養生　2
塗布・浸透　3
養生材撤去・清掃　4
塗布面の乾燥・施工後の養生　4

安全上の注意事項　6

ダンカンソリッドの施工

ダンカン　ソリッドの施工は下記のフローにより行います。

１．　下地処理

ダンカン　ソリッド塗布部分の下地の処理について
P２　1. 参照

↓

２．　施工範囲外の養生

ダンカン　ソリッドを塗布しない部分の養生方法
P２　2. 参照

↓

３．　塗布・浸透

ダンカン　ソリッドの塗布・オープンタイム等
P２　3. 参照

↓

４．　養生材撤去・清掃

塗布範囲外の養生材の撤去
P４　4. 参照

↓

５．　塗布面の乾燥

P４　5. 参照

保存科学株式会社　ダンカン事業部

1. 下地処理

塗布面はエアー・高圧水洗浄等によりホコリ、汚れ等を除去してください。
洗浄工程終了後　被塗布材が自然含水状態になるまで自然乾燥させてください。

2. 施工範囲外の養生

施工範囲外の部分については、ポリシートや養生テープ等でカバーしてください。

ダンカン　ソリッドが付着した場合には、直ちにウエス等で拭き取り、さらに
シンナーで拭き取り最後に空拭きしてください。

3. 塗布・浸透

・薬剤は、A 剤と B 剤に分かれています。
・A 剤と B 剤の混合比率は、重量比で　7.5　対　1.0　です。
・塗布量に併せて計量の上、十分攪拌して使用してください。
・薬液混合後夏期は１時間以内、冬期は２時間以内で使い切って下さい。

・　塗布量・回数は材種によって違いますが、通常は３０分くらい開けてから
　次の塗布を行って下さい。
・追っかけ塗りをする場合は塗り終わってから、表面に濡れた薬液が内部に
　染みこんだのを確認してから追っかけ塗をして下さい。
・塗布量は、樹種・材料の乾燥の程度・劣化状態等により、大幅に異なることが
　あります。
　特に劣化の激しい材料については､劣化の部位により塗布量に大きな差が出ます。
　そのことを念頭に、あえて新材料の表面に塗布した場合の標準を示します。
　従って、現物での試験塗りにより施工塗布量を決定してください。
・１日の標準塗布回数は２～３回です。また、１日の最大塗布量は２kg/㎡
　以下にして下さい。

塗布量の目安

工程	使用材料	塗布量	作業間隔	用具
1回目塗布	ダンカン　ソリッド	※30～70g/㎡	施工面乾燥確認後	ローラーまたは　刷毛
2回目塗布	ダンカン　ソリッド	※30～70g/㎡	30分～120分　以内	ローラーまたは　刷毛

※　トラバーチン新材の場合の塗布量を示す。
砂岩の場合は、300g/㎡/回　程度となります。（材料により大幅に異なることがあります。）
２回目塗布以降の濡れ色がすぐに消えてしまう場合には、浸透量が不足しているので再度塗布浸透させてくだい。

*　注記　劣化の著しい材料への塗布は、指定施工会社での施工をお薦めします。
指定施工会社以外で当材料を使用して始めて施工をする場合は、
当社の技術指導を受けて下さい。

注、塗りすぎると表面に膜を作ります。てからない仕上げを希望する場合は試し塗を行い、塗布回数、インターバルを決めて下さい。

塗布時の注意事項

①.　材料をよく攪拌してから使用ください。

②.　刷毛またはローラー塗りが基本ですが、吹きつけ塗装する場合は、
低圧スプレー（噴霧器）を使用してください。吹きつけ塗装の場合は
換気に十分注意して下さい。（防爆型ブロアー・仮囲い設置等）

③.　水・シンナー等で希釈しないでください。

④.　塗布量と塗布回数は、施行面の状態により変化する場合があります。
現物での試験塗りにより、塗布量・塗布回数を決定してください。

⑤.　塗布面のつやを消す場合は、塗布後　１時間以内にウエス等でつやを
拭き取ってください

4.　養生材撤去・清掃

塗布工程終了後、塗布面以外の養生を撤去し　24　時間以内に、周辺に付着したダンカンソリッドを布等で拭き取ってください。
床面にこぼれたり流れて留まっている場合は、滑りやすくなりますので入念に拭き取ってください。

5.　塗布面の乾燥

塗布終了後、24　時間以上（20℃以上の場合）自然乾燥してください。

注意事項

1．乾燥は，自然乾燥としてください。トーチ・バーナー等による強制乾燥はしないでください。

2．24　時間以上経過後も、塗布面に濡れ色の残る場合がありますが時の経過とともに徐々に消えて目立たなくなります。

安全上の注意事項

作業中は　ゴーグルで目の保護をし、マスクゴム手袋を着用してください。

溶剤を使用していますので、換気を十分にして、火気の使用を禁止してください。

缶の開封後は水分ホコリが入り込まないように蓋をし直射日光を避け 0 ℃以上 40 ℃　以下にして保管してください。

容器の廃棄は、中身を使い切ってから法規に従って処分してください。

体に付着した場合の処置

目に入った場合	速やかに清水で十分洗浄し状況に応じて医師の診断を受けてください
飲み込んだ場合	可能であれば、吐出し直ちに医師の診断を受けてください。
皮膚に付着した場合	シンナーで洗い落としてください。
吸入した場合	気分が悪くなった場合は、速やかに新鮮な空気の場所に移動し清水でうがいをしてください。

基本的な化学薬品の取り扱い上の注意は、必ず守ってください。